

# 諏訪地方社保協 ニュース

諏訪地方社会保障推進協議会  
2026年2月27日発行  
12 - No.3  
下諏訪町矢木町 214 南信勤医協内  
TEL : 0266-28-3071(代)  
メール: suwasyahokyo2021@skhp.or.jp  
ホームページ: “諏訪社保協”で検索

## 茅野市で子ども医療費窓口無料

**一方、入院時食費助成取りやめ、福祉医療助成対象のひとり親家庭等、障がい者には所得制限導入。その上、市単独事業の75歳以上非課税世帯者の医療費500円中止の大幅後退**

1月末に子ども医療費窓口無料についての報道がありましたが、報道されていない中身は上記のような入院食費助成を止め、生活弱者に負担増を強いる内容です。社保協は2月10日、関係者が集まり対策会議を行い18日の茅野市懇談では重要課題として取り上げました。



一般よりも多いことを指摘されるが、それは公平とは違い、国・県の福祉制度が薄いのために、頑張っていることが認識されていない。市単独事業の終了は茅野市の優れた先進的福祉制度であり壊さないでほしい。



18日の社保協と茅野市との懇談には社保協側から8名（新婦人、年金者組合、市議）、市側から9名が出席しました。

冒頭、問題になっている市福祉医療費助成制度について質疑しようとしたが、担当の市保険課長他担当職員が別件で欠席という報告があり、回答ができないという状況でした。

社保協は最重要課題であるので、口頭で要望や質問を行うことで、以下のような内容で文章回答するよう求めました。

○子ども医療費の窓口無料化は求めてきており歓迎するが、当会は食費助成を堅持しつつ実施を求めてきている。

今回の改定は

- ① 福祉医療費助成に所得制限をひとり親家庭、心身障がい者に入れる
- ② 茅野市が従来より先進的に行ってきた食費助成を止める
- ③ 75歳以上住民税非課税世帯等の市単独補助（償還払いでの医療費窓口負担500円）の中止

など、茅野市の福祉制度の大幅な後退になる。歴代市政でも堅持されてきた制度の後退を生じさせ、生活弱者に負担増をはかることになり中止していただきたい。

○市はひとり親家庭や身心障がい者などの扶養者の所得の多い事例から「平等性の問題」をいうが、扶養者らは「親なき後」を心配して所得を得ようと努力している。一部の扶養者の所得が

○当事者関係者に知らされずに3月議会で関係条例改正を行うとのことだが、その前に当事者のコンセンサスを得ることやパブコメなどを行うべきではないか、市がいう条例改正後の市民周知は順序が逆ではないかと考えるがどう考えているのか。

○あわせて、今回改定における以下の諸点  
対象除外・縮小による①子ども入院食費助成廃止 ②障がい者の所得制限導入 ③ひとり親家庭等の所得制限導入④非課税世帯高齢者除外 等について、影響人数、年間負担増額合計がいくらになるか

等について27日までに文章回答を求めました。

同市では“茅野市の福祉医療をよくする会”が結成され、2/17、市議会に対し、「拙速に議決しないことを求める陳情書」を提出し、記者会見等行う予定だといいます。

社保協は県下7自治体中4自治体（茅野市、岡谷市、諏訪市、下諏訪町）が入院食費助成を行っており、茅野市の動向が各自治体に影響を及ぼす可能性があり、波及しないよう対策を強めています。

	全助成		全額助成							一部助成								
	全助成	一部助成	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村	長野市	松本市	中野市	須坂市	小諸市1/4	信濃町	山ノ内町	高山村
2012	8	8	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村	長野市	松本市	中野市	須坂市	小諸市1/4	信濃町	山ノ内町	高山村
2013	8	7	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市	小諸市1/4	信濃町	山ノ内町	高山村
2014	8	7	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市	小諸市1/4	信濃町	山ノ内町	高山村
2015	8	7	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2016	8	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2017	8	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2018	8	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2019	8	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村	泰阜村		松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2020	8	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村			松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2021	8	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村			松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2022	7	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村			松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2023	7	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村			松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2024	7	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村			松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村
2025	7	6	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	南牧村	小布施町	栄村			松本市	中野市	須坂市		信濃町	山ノ内町	高山村

長野県資料より作成  
 2026年4月で53市町村（69%）が窓口無料へ

年度途中での変更がある為自治体数と自治体名が食い違っている年度あり（県資料のまま）

南牧村：自己負担金300円⇒26年4月0円へ 小布施町：小学校就学～のみ食費助成なし、自己負担300円

須坂市：26年4月自己負担金0円 山之内町：子どものみ1/2助成

上記は2012年からの乳幼児医療費の食費助成の変遷を県資料から作成しました。当初は一部も含め16自治体を実施していましたが、近年は13自治体に減りました。窓口無料化が進む中、食費助成をやめる自治体や、一部助成しつつ窓口無料化する自治体が見られます。子ども医療費窓口無料自治体は今年4月で53（69%）市町村。食費全額助成は茅野市、岡谷市、諏訪市、下諏訪町等7自治体で、一部負担自治体は6市町村となっています。中でも医療費、食費ともに窓口無料は、栄村、南牧村（4月～）です。1/2等一部負担かつ窓口無料は松本市、中野市、信濃町、山ノ内町、高山村、須坂市（4月～）となっており、茅野市はいきなり障がい者、ひとり親家庭等も合わせ食費助成を止めるといふものです。さらには福祉医療のひとり親家庭等、障がい者には所得制限を入れ、市単事業の75歳以上非課税世帯の医療費500円もやめるといふ大きな後退です。

### 食費助成は他県では多くの自治体が行っている

下の表は隣接県における、子ども医療費助成での食費助成の状況を独自調査したものです。群馬県は100%医療も食費もすべて子どもは窓口無料です。福井県は食費100%助成、静岡や新潟、山梨なども過半数の自治体が食費助成を行っており、長野県の低さは富山、石川などと並んでいます。

入院時の食費・居住費の自己負担化は「家に居ても食事はとるから」と、いわゆる「ホテルコスト」の分離の制度化を小泉内閣時代に決められてしまいました。しかし、子どもや障がい者が入院加療するということは医師の治療方針で決定され、その食事は成長と回復を支える治療の一貫です。これを存続させてきたことは誇れる制度を構築してきたといえます。財政論だけで切り捨てるべきではなく、自治体には、国制度を補完する裁量と責任があります。

### 周辺県の子ども医療費助成制度・食費助成調査

2024年12月調査

県	長野	群馬	埼玉	新潟	富山	石川	福井	岐阜	山梨	静岡
市町村数	77	35	63	30	15	19	17	42	27	35
対象年齢	県：中卒 市町村：18	18	18	18	富山市：15 他：18	金沢市通院 15、他18	池田町15、 他18	高卒：31 高卒：2	18	18
所得制限	なし	なし	なし	あり				なし	なし	なし
自己負担金	29なし、 他300～ 500円	なし	なし	さまざま	なし	なし	13：なし、 4：500円	なし		4市は外 来500円
助成方法	29：現物、 県：償還	○	○	○	立山町のみ通 院高校償還払	現物18、金沢 通院500/日		現物～18歳 30、～15歳12	○	○
入院食費 助成	一部	6	0	2	0	0	0	0	0	0
	全額	7	35	22	18	0	0	17	1	14
	合計	13	35	24	18	0	0	17	1	14
割合%	16.9	100	38.1	60.0	0.0	0.0	100.0	2.4	51.9	85.7

### 下諏訪町懇談を行いました

2月5日、社保協働11名（勤医協、共立福祉会、民医労、新婦人、泉の会、議員）、町側は10名でした。懇談はマイナ保険証、国保税引き下げ、介護保険制度改善、低所得者や生活保護受給者のクーラー設置、給食無償化、補聴器購入助成等におよびました。（詳細は次号）

### 3月議会に消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情提出

・共立病院・ひまわり薬局薬剤師らと各議会委員会で意見陳述をおこないます

OTC 類似薬の保険外しが昨年6月に自公維（当時の与党）間で合意し、国民負担増の方向が決められましたが、いったん見送られ、追加負担を消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬等に行う方向が進められています。今回は薬剤師の皆さんにも協力をいただき、国への意見書提出に向かいます。

### 今後の主な日程（詳細は事務局まで）

- 2/28（土） 県社保協働会（WEB）10時半～15時半  
記念講演（13時半～） 長友薫輝 佛教大学社会福祉学部准教授  
「地域の医療と社会保障を構想する」
- 3/5（木） 半貧困ネット信州再結成にむけた会議
- 3/6（金） 諏訪市議会委員会陳情説明9時半

- 3/9（月） 富士見町議会委員会陳情説明13時
- 3/ 茅野市、原村議会委員会意見陳述（日時未定）
- 3/17（火） 岡谷市懇談対策会議10時 諏訪湖ハイツ
- 3/25（水） 岡谷市懇談10時半 市役所
- 4月、5月 富士見町、諏訪市懇談（日時未定）